

過去のポリオワクチン接種回数別の今後の接種スケジュールについて

生ワクチンを1回接種済みの方

生ワクチンを不活化ワクチンの1回分と数えて、残り3回を不活化ワクチンで接種します。初年度は4週以上の間隔であと2回+翌年1年～1年半あけて1回の追加接種で初期免疫完了です。この場合も長期効果を期待し、**4歳以降の5回目の追加接種を任意**でお奨めします。

生ワクチンを2回接種済みの方

厚労省の推奨によれば、生ワクチンを2回接種済みの方は免疫完了であり、不活化ポリオワクチンの追加接種は不要であるとされています。

一般の方の間でも、生ワクチンは強力だから2回接種で十分だという考えがあります。しかし、たとえ**生ワクチンであっても世界標準の接種回数は4回以上であり、2回しか接種していない日本人の免疫は海外では接種未完了**とみなされます。また、実際の抗体保有率も不十分であることが分かっています。(3型や1型の免疫が不十分です。)

全国のポリオ中和抗体保有状況のデータをお示しします。

<http://idsc.nih.gov/jp/iasr/30/353/graph/df35345.gif>

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000000bx23-att/2r9852000000bybl.pdf>

上の図5のグラフ(≧1:8で防御可能)と、下のファクトシートのp8のグラフのポリオ中和抗体保有率を見ていただくと、98%以上の接種率で生ワクチンを2回接種完了した世代でも、1~3型まで十分抗体を保有している人が半数程度しかおられないことがわかります。特にナイジェリアとパキスタンで流行中の**3型ポリオの抗体を持っていない日本人は半数近く**おられますので、**ポリオ流行地へ渡航する日本人はこの事を知っておく必要があります**。

もちろん、国内でポリオの流行が無い状況において、**緊急で追加接種をする必要性は低い**と思われる。

しかし、お子さんが大学生の頃に突然アフリカや中央アジアなどへ旅行に出かける場合がありますし、社会人になり突然仕事で出張を命じられる場合もあります。その時に、渡航前のワクチンを接種する時間的ゆとりがあるかどうかわかりません。そもそもワクチンのことなど念頭にないかもしれません。しかし、2回接種しか受けない状態で免疫不十分なままポリオ流行国に近づくのはご本人にとっても、帰国後のご家族(未来のお孫さん)にとっても危険です。

お子さんが将来海外を飛び回る可能性が高いと思われる方、危機管理のため将来の様々な可能性に備えて基礎免疫をしっかりとつけておきたいとお考えの方にはポリオの免疫を確実な

ものとするため、不活化ポリオワクチンを今から積極的にあと2回任意接種しておかれることをお奨めしています。

また、実際に流行国やその周辺国に行かれる直前の方には渡航前に検疫所などにご相談いただき、例えワクチン4回接種完了者であっても必要に応じて渡航前ワクチンの追加接種をお奨めしています。ポリオワクチンは生も不活化も過剰接種による副反応増強はありません。

WHOはポリオ流行地域へ渡航する人に対し、ポリオ生ワクチンを3～4回以上接種完了している場合でも、渡航前に生ワクチンの1回追加接種を推奨しています。その理由は、渡航者本人を守る為と渡航者が帰国時に健康ウイルス保有者としてポリオウイルスを持ち帰り、非流行国に感染拡大させることを防ぐ為です。

(参考)

WHO ポジションペーパー

<http://www.who.int/wer/2010/wer8523.pdf>

のp228の20行目には、ポリオ流行国へ渡航する人は例え3回以上のポリオ生ワクチンや不活化ポリオワクチンを接種していても、渡航前にあと一度だけ追加接種が提供されるべきである、と記載されています。

流行国へ渡航する場合には、ポリオ生ワクチン3～4回以上接種済み者であっても決して免疫が十分とは言えないということを知っておくことは健康危機管理上重要です。

当院の輸入不活化ポリオワクチンで1回接種済みの方

国の推奨するスケジュールに従って、残り3回を不活化ワクチンで接種します。初年度は4週以上の間隔であと2回+翌年1年～1年半あけて1回の追加接種で初期免疫完了です。この場合も、4歳以降の5回目の追加接種をお奨めします。(枚方市では5回目は有料です。)5回目の接種については一番下の【注】をご参照ください。

当院の輸入不活化ポリオワクチンで2回接種済みの方

お渡しした当院推奨スケジュールに従って、2回目の後6～12か月あけて3回目を接種し、さらに3回目から6か月以上開けて4歳の時に4回目を接種していただくことをお奨めします。

ただ、4歳時の接種を絶対に忘れないようにお願いします。4歳の接種を忘れてしまうのがご心配な方は、初年度3回+翌年1年あけて1回+さらに4歳以降に(3回目から半年以上あけて)1回追加の計5回接種スケジュールに変更も可能です。(枚方市では5回目は有料)5回目の接種については一番下の【注】をご参照ください。

当院の輸入不活化ポリオワクチンで3回接種済みの方

お渡しした当院推奨スケジュールに従って、4歳の時に（3回目から6か月以上開けて）4回目を接種していただくことをお奨めします。

ただ、4歳時の接種を絶対に忘れないようにお願いします。4歳の接種を忘れてしまうのがご心配な方は、初期3回接種の後1年あけて1回+さらに4歳以降に（3回目から半年以上あけて）1回追加の計5回接種スケジュールに変更も可能です。（枚方市では5回目は有料）5回目の接種については一番下の【注】をご参照ください。

当院の輸入不活化ポリオワクチンで2回+ポリオ生ワクチン1回接種済みの方

お渡しした当院のスケジュールに従い、不活化か生かいずれか最後に接種したワクチン（3回目）から6か月以上開け、かつ4歳時に4回目を接種していただくことをお奨めします。

ただ、4歳時の接種を絶対に忘れないようにお願いします。4歳の接種を忘れてしまうのがご心配な方は、3回目の接種後1年あけて1回+さらに4歳以降に（3回目から半年以上あけて）1回追加の計5回接種スケジュールに変更も可能です。（枚方市では5回目は有料）5回目の接種については一番下の【注】をご参照ください。

当院の輸入不活化ポリオワクチンで2回+ポリオ生ワクチン2回接種済みの方

強力な免疫を獲得していますので、4歳以降の追加接種も不要です。しかし、この場合でもポリオ流行国への渡航時にはポリオ生ワクチンの1回追加接種が推奨されます。

また、生ワクチンはおそらく効果が一生持続すると言われていますが、本当に生ワクチンの効果が一生続いたというデータはありません。（生ワクチン接種者は他の生ワクチン接種者から何度も2次感染するため、正確に免疫の持続を測定することができないからです。一生持続するかどうかの結論は米国のように完全に生ワクチンを中止した国のデータが蓄積するまでわかりません。）もちろん、生ワクチンも一生効果が持続すると推測されていますが、本当に持続するのかどうか証明されていないため、たとえ生ワクチン接種者でもポリオ流行国へ将来行かれる場合には免疫を過信せず、直前に追加接種をお願いいたします。

他の接種パターンの場合、適宜当院小児科スタッフにご相談いただければ幸いです。

【注】

厚労省によれば、過去に海外の不活化ポリオワクチンを接種した方は、医師の判断と保護者の同意があれば過去接種分はカウントせずに初めからやり直すことも可能とされており、4歳時に不活化ワクチンの5回目を法定接種する事は可能です。ただし、枚方市では5回目の接種は法定接種であっても有料ですのでご注意ください。（帰国者の5回目接種時は要相談）ポリオワクチンは5回以上何回接種しても、過剰接種による副反応の増強はありません。なお、上記については厚労省の自治体担当者向け質疑応答集質問番号33番をご参照下さい。
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/polio/dl/topics_20120601-03.pdf